

東京都小学校国語教育研究会研究主題

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習  
—学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする—

話すこと・聞くこと部 研究主題

求めて関わり、自他の充実を目指す話し合い

## 第5学年国語科学習指導案

### 単元名 5年生のタブレット教室 ～2年生が発表名人になれるように話し合おう～

学習材名「よりよい学校生活のために」(光村図書 5年)

第1会場 品川区立大井第一小学校 日時：令和8年2月20日(金)5校時 児童：品川区立大井第一小学校 第5学年 梅組 33名 担任：品川区立大井第一小学校 主任教諭 小林 雄大 指導者：世田谷区立東深沢小学校 主任教諭 本條 菊恵	第2会場 台東区立松葉小学校 日時：令和8年2月20日(金)5校時 児童：台東区立松葉小学校 第5学年 2組 24名 担任：台東区立松葉小学校 主任教諭 浅野 明菜 指導者：台東区立金竜小学校 主任教諭 早坂 京乃
---	---

#### 1 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。  
〔知識及び技能〕(2)イ
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。  
〔学びに向かう力、人間性等〕

#### 2 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ	①「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	①進んで互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりし、今までの学習を生かして、情報機器との上手な関わり方について3年生に伝えようとしている。

### 3 単元構想

#### (1) 児童について（児童観）

##### ・第1会場

話し合う活動について、各教科の学習の際に、ペア活動の機会を多く設定しており、進んで交流することができる。国語科の学習では、「きいて、きいて、きいてみよう」「どちらをえらびますか」（光村図書）の単元で、相手の意図を考えながら聞いたり、質問したりする学習経験を積んだ。一方で、考えをまとめる話し合い方には課題がある。自分の意見の良さを前面に出して話してしまうことがあり、話の中心からそれてしまったり、複数の意見があったら、どれがよいかをひたすら議論をしてしまったりするため、考えがまとまらなくなってしまう。話し合いの目的や、前提条件や決定条件に立ち返ることで話題からそれないようにすること、複数の意見が対立したときに1つを選ぶだけでなく、共通点や相違点を見つけながら意見を組み合わせるなどの考えのまとめ方があることを、本単元で繰り返し話し合いに取り組む中で学んでいけるようにする。

学習用タブレット端末の活用については、主にロイロノートを使用している。今年度はデフリンピックを観覧した際の経験を、ロイロノートを使って発表スライドにまとめ、4年生に向けて発表した。参加している委員会活動やクラブ活動によっては、動画編集などのアプリを使うことができる児童もいる。個人の技術には差があるが、自分たちの経験を生かして、2年生の発表がよいものになるように、また、3年生の学習にも生かせるようにするにはどうしたらよいかを考えさせながら指導していく。

##### ・第2会場

話し合う活動について、各教科でペアやグループでの活動を日常的に取り入れている。学習内容によって、司会を立てたり、役割を決めたりしながら話し合う活動も行っている。話し合い活動には意欲的な児童が多く、自分の意見を、理由を述べて伝えられる児童も多くいる。一方で折り合いをつけたり、他の意見と共通点や相違点を見付けたりしながら、まとめていくことには課題がある。相手の話を受けて質問したり、意見を比べながら広げたりまとめたりする経験を増やし、自分の意見を通すのではなく、相手意識をもちながら、よりよい考えを生み出す話し合いになるようにしたい。

学習用タブレット端末の活用については、中学年の頃から特に使用頻度が高まり、高学年になると学習の振り返りや発表、まとめ等で日常の学習活動でも多く取り入れている。今年度の学習発表会では、霧ヶ峰移動教室について調べたことや実際に体験したこと等を、写真や資料を用いて全校に発表した。個人の技術には差があるが、自分たちの経験を生かして、2年生の発表がよいものになるように、また、3年生の学習にも生かせるようにするにはどうしたらよいかを考えさせながら指導していく。

#### (2) 学習材について（学習材観）

本学習材では、日常の学習活動に多く取り入れられるようになってきている情報機器の活用に着目した話題を設定した。1人1台学習用タブレット端末の配布により、どの児童も情報機器に触れる機会は増えた。同時に、情報機器の扱い方の知識や技能の向上、情報そのものの活用への配慮などを学ぶ必要性も高まっている。5年生の社会科では、情報を生かして発展する産業や情報の活用について学習する。社会科の学習と関わりながら、児童が関心をもって話し合える話題であると考えた。

本単元は、情報機器の活用の方法や、活用する際の注意点を下学年に伝えるという目的意識のもと、伝える相手にどのような内容を伝えるのかをグループで決める話し合いを設定した。これまでに積み重ねてきた話し合いの力を生かせるよう、付けたい力を「付けたい力の木」を児童に補助資料として配布する。児童が自身の話し合いこれまでに積み重ねてきた話し合いの力を生かしながら、さらに本単元を通して付けたい力について「付けたい力の木」として示し、補助資料として配布する。

この力を俯瞰的に意識しながら振り返り、身に付けていくことができるようにする。

#### (3) 単元について（単元観）

本単元では、まもなく3年生になる2年生に対して、「タブレットの使い方を教えたい」という気持ちが話し合いの原動力になっている。本単元の学習開始前に、2年生がタブレットを活用して生活科の学習の発表をする機会があることを知った5年生が、これまでの発表経験を2年生に伝えるという交流をすることで、互いに「教わりたい」「教えたい」という意欲が生まれるようにした。

話し合い活動は、単元を通して3回設定している。自分たちの情報機器に関する知識や技術を整理し、相手にどの内容をどのように伝えたいかについて話し合うことが、本単元の大きな流れになっている。また、同じ流れの話し合いを複数回設定することで、前回の話し合いの自己やグループの振り返りを生かして取り組んだり、うまくいかなかった点についてはもう一度試したりすることができる。話し合う経験を重ねることで、個の変容や集団としての高まりを実感できると考えた。また、話し合い活動の際に、ペアグループ同士で互いの話し合い方を見合う活動を設定している。「付けたい力一覧表」に示されている力が、話し合いの中でどのように使われているのか、他者の姿を通して具体的に捉えられるようにしている。

## 4 研究主題に迫るために

### 高学年分科会提案

「互いの立場や意図を明確にして話し合うことを通して、身に付けた力を生かそうとする」

#### (1) 「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる

高学年は、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している」こと、また「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている」ことが発達段階として求められている。本単元では、これまでに積み重ねてきた話し合いの力を再確認するとともに、学習を進めていく中で言葉に対する意識が高まり、より「分かり合えるように話をする」姿勢を大切にしている。発表をする相手の2年生に対して、適切で必要であるとする話題を主体的に設定するとともに、グループ内でお互いの考えや思いを交換し合う場面にも、「言葉による見方・考え方」の意識を働かせたい。

上記の活動を充実させるためには、今の自分に身に付いている力や、これから身に付けていく力を自覚して学習することが必要であるとする。話し合いにおける個や集団の課題や目標を客観的に捉えやすくできるように、「付けたい力の木」の活用を単元の中に取り入れた。また、話し合いの場を3回設けたことも工夫の一つである。同様の流れで複数回話し合い活動に取り組むことで、子供たちの「どのような言葉を使って話し合えばよいのか」という意識が高まるとともに、身に付けた話し合いのこつを使って繰り返し伝え合う活動を積み重ねることによって、より意欲的に自分たちの設定した話題について話し合えるのではないかと考える。

#### (2) 児童が（本単元において）身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

##### ① 「付けたい力の木」の活用

4年生までに身に付けてきた話し合うことのできる力及び、高学年になってこれから身に付けたい力について、学習指導要領に示されている指導事項を基にして、児童にも分かる言葉に置き換えて一覧できる資料を作成した。児童が親しみやすいように木のデザインで資料をまとめ、話し合う際のチェックシートとして活用することで、児童が単元のはじめの時点でこれまでに身に付けてきた力を振り返ったり、単元の学習を通して身に付けた力を自覚したりできるようにする。国語科の話し合いの学習を起点にした「付けたい力の木」で定着を意識化することは、他教科の学習の話し合いの場面においても活用することができる。また、実生活にも生かすことができると考える。「7 資料」に実際に授業で使用することを添付した。

##### ② 話し合いのモデル台本の備え

本単元の特徴である3回の話し合いの場の設定は、同様の流れで複数回話し合い活動に取り組めるようにしている。これにより、話し合いの進め方の見通しや、身に付けたい力に対する自覚、どのような言葉を用いて話し合うとよいかということに対する児童の気づき生まれ、その気づきを確かな学びにしていくことができると考える。本単元では、児童の気づきを積み上げて学びを進めていくために、話し合いのモデル台本を作成した。この台本は、話し合いのポイントが理想的な流れで整理されているため、指導者側が指導の留意点を理解して助言できるように工夫している。一方で、モデルの流れにとらわれない、子どもたち同士の自然発生的で主体的な話し合いをさせたいという意図もあり、モデルはあえて提示しないことを試みた。

### 「5年生のタブレット教室」モデル文

人物	台詞	話し合いのポイント
A 1	これから話し合いを始めます。よろしくお願ひします。 前回は、タイピングについて話し合い、難易度を選ぶことができる「すし打」を紹介することに決まりました。今日は、「基本機能」についてどんなことを伝えるか決めていきます。 目的と決定条件を確認します。私たちは、「2年生にタブレットの使い方を紹介する」ために、話し合いをしています。決定条件は「2年生でもすぐできること、2年生の発表に生かせること、3年生の学習に役立つこと」です。今日もみんなから出た意見の共通点や相違点、よい点や課題を話し合いながら決めていきましょう。それでは、話し合う時間は15分です。意見がある人はいますか。	司会の役割 話し合いの見通し 決まったことの確認 目的と条件の確認 時間の確認

B 1	はい。私は、「コピー貼り付け」を絶対に伝えたいです。今回は生活科の発表ですが、3年生での総合でもスライドを作る機会がけっこうあると思うので、調べて分かったことを引用したいときに、コピー貼り付けを使うと一瞬でスライドに載せたい文章が載せられるから、これはぜひ教えてあげたいです。	意見の提案・理由
C 1	わざわざノートに写してそれをまた打つのは大変だし時間もかかるもんね。私は、「インターネット検索」です。分からないことはすぐに調べることができます。この前も、習った漢字を忘れてしまったときに使い、便利でした。	受け止め 意見の提案・理由
A 2	なるほど。どちらも確かに便利でいいですよ。私は、「スクリーンキャプチャ」がいいと思います。画面の内容をそのまま保存して使えるので、スライドに動画を貼り付けたいときなどに便利です。	受け止め 意見の提案・理由
B 2	私は他にも基本機能で伝えたいことが3つあるので、他の考えも聞いてください。あとは…	その他の意見
A 3	省略 それぞれ意見を出し合ったので、比べていきましょう。似ている意見は…コピー貼り付けとスクリーンキャプチャは何か資料を作るときに使えるかなと思うのですが、どうですかね。	話し合いの見通し 意見の比較
B 3	たしかにAさんの考えに賛成で、私も両方よく使うのですが、係でクイズを出す資料を作ったときに使いました。だから似ていると思います。	受け止め・同意 経験 共通点の確認
C 2	わたしはあまり資料を作ったことがないので、2年生が使うかどうか分かりません。スクリーンキャプチャやコピー貼り付けを使うときは、他にどんなときがありますか。	条件との比較 質問
B 4	コピー貼り付けは、読み方の分からない漢字が出てきたときコピーして、それをインターネットに貼り付けてすぐに検索できました。写真を検索したこともあります。	質問の返答 経験
A 4	スクリーンキャプチャも資料でなくても、好きな画像やサイトを保存できるし、私は犬が好きだからお家の人をお願いして、パソコンの背景を子犬の画像にしてもらいました。結構簡単にできると思うので、2年生でも知っておくと使えるのではないかと思います。	質問の返答 経験
B 5	なるほど。知っておけば普段の生活の中でも使えそうですね。ただ、何でもかんでも保存してしまって、だれかが嫌な思いをすることにならないようには気を付けてほしいですね。	受け止め 新たな視点
C 3	たしかにそれはあるね。友達が学校のタブレットで関係ない好きな画像を保存したり、それを見て笑ったりしているのを見たことがあって、いやだと思ったことがあります。使い方には気を付けないといけなそうですね。	受け止め 経験 意見
A 5	たしかに。きちんとルールを守って使ってもらえるように伝えましょう。そろそろ私たちの意見をまとめましょう。決定条件は、「2年生でもすぐできること、2年生の発表に生かせること、3年生の学習に役立つこと」でした。	意見 決定条件の確認
C 4	コピー貼り付けは資料やインターネット検索で使えて3年生の学習に役立つし、スクリーンキャプチャもインターネット検索したときに、それを保存することもあられるでしょう。全部一緒に伝えられるのではないのでしょうか。	意見
A 6	なるほど。インターネット検索の仕方を伝えながら、コピー貼り付けとスクリーンキャプチャも伝えられそうですね。Bさんはどう思いますか。	同意 他の意見への確認 まとめへの示唆
B 6	わたしも賛成です。コピーや貼り付け、インターネット検索は、操作が簡単なもので、2年生でもすぐにできると思います。	同意 条件との比較
C 5	2年生もきっとインターネット検索はしていると思うので、新たな機能を教えてあげられるし、発表にも生かしてもらえそうですね。	条件との比較
A 7	では、決定条件とも照らし合わせた結果、私たちのグループの2つめは「インターネットを検索した後に使える、コピー貼り付けとスクリーンキャプチャ機能のやり方を教える」ことにしましょう。3年生にとって今まで使ったことのないことを教えてあげられそうですね。みなさんが協力して意見を整理したりまとめたりしてくれたので、話し合いがうまく進みました。これで話し合いを終わります。ありがとうございました。	決定事項の確認

### ③ 話し合いの内容や進行の可視化

進め方や時間配分を意識しながら計画的に話し合うことができるように、黒板に話し合いの手順を示す。また、グループ名や番号が書かれたマグネットを黒板に掲示してある手順の下に貼り、話し合いが進んだら児童自身が次の手順の下にマグネットを移動させていく。黒板に掲示することで、他のグループの進み具合と合わせながら、自分のグループの進捗状況を意識して話し合いを進められるようにする。

グループでの話し合いでは、机上に「話し合いボード」を置いて活動する。自分たちが出し合った意見の関係付けや、共通点や相違点の比較整理などを可視化し、情報を共有しながら話し合いを進めていくことができるようにしている。

## (3) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもつ。

### ① 個の変容や集団としての高まりを意識できるようにするための3回の話し合いの場の設定

第二次にて、同じ形式で3回話し合いを行う。同じ形式であることで、児童が「次回でできるようになりたい」と設定した付けたい力を意識することができたり、毎回の活動を振り返りやすくしたりできる手立てになると考えた。繰り返し取り組むことで、学びを確実にし、高めていくことができると考える。

### ② グループ間でペアを作り、互いの話し合いを見合う活動を設定(ペアでの相互評価)

「付けたい力の木」に示されている力が具体的にどのようなことができたときの姿なのかを、他者の姿を通して児童がメタ認知できるように、グループ同士で互いの話し合っている時の姿を見合う活動を設定した。さらに相手グループの誰に注目するのも決め、話し合い方の良かった点を具体的に伝えられるように、付箋にメモを取りながら話し合いを聞く。付箋には、話し合いにおいて大切にしたい話しかけ方や受けとめ方、相手の意見の聞き方などを書くように指導しておく。話し合いを聞く側になった児童は、話し合いをする児童からその時間の「付けたい力」は何かを聞き取り、それを意識しながら話し合っているかを見守る。片方のグループの話し合いが終わった時点で、聞く側の児童は、書き溜めた付箋をどんなところがよかったのか、言葉を添えながらペアの児童に渡す。そうすることで、文字と音声で自身のよかった点を振り返ることができる。この活動を3回重ねると、児童のワークシートには、ペアから受け取った付箋が増えていく。児童は、付箋が増えていくことで、話し合いにおける自身の力の伸びを実感できるとともに、ペアの児童から良い点を音声で受け取ることで、話し合ったことへの充足感を即時に得ることができると考える。

一方、児童が相互評価をすることで指導者側は、全体の進行を見取ることができるようになる。指導者が見取ったよい話し合いをしているグループを紹介して価値付けたり、うまく話し合えず困っている場面などを取り上げてどのように解決したらよいかを学級全体で検討したりするといった、全体指導も行いやすくなる。こうした振り返りや全体指導を取り入れることで、協働しながら学びを広げ、深めていけるようにする。

## (4) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

本単元では、話し合う活動を3回、同じ流れで行う工夫を実践している。反復学習することで、前時の課題や見いだした解決方法が試しやすい単元構成となっている。また、同じ流れの授業を繰り返すことで、一単位時間の活動の見通しももちやすくなり、互いの意見をより活発に交流させることができる。

小学校生活の中で、話し合いにおける「身に付けさせたい力」は、発達段階に応じて積み重ねられていく。しかし、学習者が「話し合う力」を自覚しながら、日常生活の中に生かしていくには、学習者自身のメタ認知が欠かせない。メタ認知をすることで自身の力を自覚し、生活の中に生かしていこうとする意識が芽生え、高学年分科会の提案する「互いの立場や意図を明確にして話し合うことを通して、身に付けたい力を生かそうとする」態度が養われていくと考える。

5 単元計画 (全6時間)

過程 (次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
第一次 話題の設定・情報の収集・内容の検討	1	<p>【学級全体】</p> <p>1 相手意識・目的意識から話題を設定する。</p> <div data-bbox="316 387 715 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【相手意識・目的意識】 2年生にタブレットの使い方を教える。</p> </div> <div data-bbox="316 544 715 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【話題】 2年生に教えたい事柄を決める。</p> </div> <p>2 教えたい内容を出し合う。</p> <div data-bbox="316 824 715 1037" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本機能 ・タイピング</li> <li>・キャンバ ・ロイロノート</li> <li>・Google chrome</li> <li>・楽しみながらかしくなれるアプリ (タイピング以外)</li> </ul> </div> <p>3 グループで教えたい内容を3つ決める。</p> <p>4 活動計画を立てる。</p>	<p>○事前に2年生に向けて5年生がタブレットを使った発表を披露することで、2年生は「5年生のようにできるようになりたい。教えてほしい」、5年生は「2年生にタブレットの使い方を教えたい」と、互いに相手意識・目的意識が生まれるようにする。</p> <p>○児童自らが話題を設定するようにしていく。</p> <p>○幅広く膨大な意見が出てくることが予想されるため、児童の意見を聞きながら、教師がおおまかに6つのグループに分類していく。その際、児童と共に共通点や相違点に着目しながら分類していく。</p> <p>○事前に3～4人の8グループを作っておく。</p> <p>○教えたい内容を3つにすることで、話合いの回数を確保する。また、1つは自分の希望が通るようにすることで、最後まで粘り強く取り組めるようにする。</p> <p>○児童が自ら活動計画を立てるようにする。</p>	
	2	<p>【個人】</p> <p>1 本時のめあてと付けたい力を確認する。</p> <div data-bbox="316 1619 715 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 2年生に教えたい事柄を考える。(自分の考え+根拠)</p> </div> <div data-bbox="316 1742 715 1888" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>付けたい力 集めた情報を分類したり関係付けたりして、自分の考えをまとめる力。</p> </div>		

2 決定条件を設定する。

**決定条件**

- ・ 2年生でもすぐできること
- ・ 2年生の発表に生かせること
- ・ 3年生の学習に役立つこと

3 集めた情報などから、2年生に教えたい事柄を考える。

- ・ 教えたい事柄を付箋に書く。(各3枚以内。)
- ・ 根拠をキーワードで短く書く。

4 集めた情報を分類したり関係付けたりして、自分の考えをまとめる。

- ・ 付箋を分類・整理する。
- ・ ○で囲ったりメモに書き込んだりする。

5 本時の振り返りをする。

6 6年間の話し合いで付けたい力を確認し、現時点身に付いている力や本単元を通して付けたい力を自覚する。

- ・ 自分の力の自覚。  
↓
- ・ 自分の付けたい力を決める。

○付箋の内容を把握し、足りないところは助言をする。

○2年生の実態、2年生の担任の願い、自分の体験、調べて分かったことなどを根拠に自分の考えを書くようにする。

○付箋を活用することで、情報を整理したり自分の考えをまとめやすくしたりする。また、付箋の色を変えることで、話し合いの際誰の意見か分かるようにする。

○事前に教師による実態把握と児童への意識調査を行い、分析・結果を基に児童と共に付けたい力を設定していく。

○付けたい力一覧表を参考に考えるよう促す。

**〔知識・技能①〕  
付箋が貼ってあるワークシート**

- ・ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っているかの確認。

**〔思考・判断・表現①〕  
付箋が貼ってあるワークシート**

- ・ 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討しているかの確認。

第二次  
話し合いの  
進め方の  
検討・考  
えの形  
成

3

**【グループ】話し合い①**

1 本時のめあてと付けたい力を確認する。

**めあて**

2年生に紹介したい事柄を決める。

**付けたい力**

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる力。

2 話し合う。

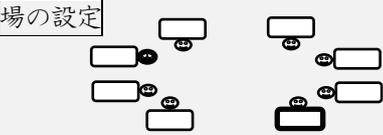
**【活動の流れ】**

- ・ Aグループの話し合い
- ・ Bグループの話し合い

○自己の課題を把握し、学びの調整がしやすいようにする。

○各グループの進捗状況が把握しやすいように、黒板に話し合いの進捗を掲示する。

	<p>【話し合いの流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識・目的意識を確認する。</li> <li>・決定条件を確認する。</li> <li>・司会者などの確認をする。</li> <li>・時間を確認する。</li> <li>・意見を出し合う。</li> <li>・比べる。</li> <li>・まとめる。</li> </ul> <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア (A と B) で振り返る。</li> <li>・個人で振り返り、次回の身に付けたい力を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアを決め、話し合いの中でよかったことを付箋にメモさせる。言葉に着目しながら聞くよう指導する。</li> <li>○指導者は予め理想とする話し合いのモデルを作成し、指導のポイントを理解しておく。</li> <li>○必要な場面で止め、助言を行う。</li> <li>○振り返ることで、自分や自分たちの学びを自覚するとともに、他者と話し合うことのよさや価値に気付けるようにする。</li> </ul>
4 本 時	<p>【グループ】話し合い②</p> <p>1 本時のめあてと付けたい力を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 2年生に紹介したい事柄を決める。</p> <p>付けたい力 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる力。</p> </div> <p>2 話し合う。</p> <p>【活動の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループの話し合い</li> <li>・Bグループの話し合い</li> </ul> <p>【話し合いの流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識・目的意識を確認する。</li> <li>・決定条件を確認する。</li> <li>・司会者などの確認をする。</li> <li>・時間を確認する。</li> <li>・意見を出し合う。</li> <li>・比べる。</li> <li>・まとめる。</li> </ul> <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア (A と B) で振り返る。</li> <li>・個人で振り返り、次回の身に付けたい力を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の課題を踏まえた、付けたい力を確認する。</li> <li>○前時と役割を交代することで、全員がそれぞれの役割を一回ずつ経験できるようにする。</li> <li>○ペアを決め、話し合いの中でよかったことを付箋にメモさせる。言葉に着目しながら聞くよう指導する。</li> <li>○同じ流れ、似た話題を3回設定することで、個の変容や集団としての高まりを意識しやすいようにしたり、前時の課題を改善しやすくしたりするよう促す。</li> <li>○前時と比較してどうであったかを振り返るとともに、次時への見通しがもてるようにする。</li> </ul>
5	<p>【グループ】話し合い③</p> <p>1 本時のめあてと付けたい力を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の課題を踏まえた、付けたい力を確認する。</li> </ul>

	<p><b>めあて</b> 2年生に紹介したい事柄を決める。</p> <p><b>付けたい力</b> 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる力。</p> <p>2 話し合う。 【活動の流れ】 ・Aグループの話し合い ・Bグループの話し合い 【話し合いの流れ】 ・相手意識・目的意識を確認する。 ・決定条件を確認する。 ・司会者などの確認をする。 ・時間を確認する。 ・意見を出し合う。 ・比べる。 ・まとめる。</p> <p>3 本時の振り返りをする。 ・ペア(AとB)で振り返る。 ・個人で振り返り、次回の身に付けたい力を決める。</p>	<p>○前回と役割を交代させる。 ○ペアを決め、話し合いの中でよかったことを付箋にメモさせる。言葉に着目しながら聞くよう指導する。 ○2回の話し合いでの慣れから、早く決まることが予想される。そのため、決まったグループから、分担決めや交流の準備をする時間とする。</p> <p>○前時と比較してどうであったかを振り返るようにする。</p>	<p>〔思考・判断・表現②〕 <u>発言・話し合いボード・ワークシート</u> ・お互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしているかの確認。</p>
<p>第三次 課外 共有</p>	<p>【異学年交流】 ○2年生にタブレットの使い方を教える。 ・2年生に教える。 ・実際に2年生に操作してもらう。</p> <p><b>場の設定</b></p>  <p>○実際に実演しながら教えられるようにする。 ○お店屋さん方式で、2年生がそれぞれのお店を回る。 ○お店は話し合いをした3～4人の8グループで構成する。</p> <p>6 【個人・グループ・学級全体】 1 2年生にタブレットの使い方を教えた感想を交流し合う。 2 単元を通して身に付いた力を振り返る。 ・個人で振り返る。 ・学級全体で共有する。 3 身に付いた力を日常生活や他教科等のような場面で生かすことができるか考える。</p>	<p>○単元全体の自己評価・相互評価を行うことで、メタ認知できるようにする。 ○個の変容や集団としての高まり、他者と話し合うことのよさや価値に気付いている児童を取り上げ、学級全体の価値付けを行う。 ○日常や他教科等に生かす方法を具体化する。</p>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度①〕 <u>ワークシート・観察</u> ・進んで互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりし、今までの学習を生かして、情報機器との上手な関わり方について2年生に伝えようとしているかの確認。</p>

## 6 本時の学習（4/6）

### (1) 本時のねらい

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

### (2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
<p>1 本時のめあてと付けたい力を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>めあて</b> 2年生に教えたい事柄を決める。</p> <p><b>付けたい力</b> 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる力。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア同士で今日の付けたい力を共有する。</li> <li>・黒板の「身に付けたい力」のところにネームプレートを貼る。</li> </ul> <p>2 話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>相手意識・目的意識</b> 2年生にタブレットの使い方を教える。</p> <p><b>決定条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生でもすぐできること</li> <li>・2年生の発表に生かせること</li> <li>・3年生の学習に役立つこと</li> </ul> </div> <p>【Aグループの話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループが話し合う。</li> <li>・BグループはAグループの話し合いの様子を観察する。</li> </ul> <p>【Bグループの話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bグループが話し合う。</li> <li>・AグループがBグループの話し合いの様子を観察する。</li> </ul> <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア（AとB）で振り返りをする。（互いのワークシートに感想を書く。）</li> <li>・個人で振り返り、次回の身に付けたい力を決める。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>予想する児童個々の身に付けたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの意見の共通点や相違点、よい点や課題をまとめる力。</li> <li>・友達の考えを認めてから自分の考えを言う力。</li> <li>・互いに質問をし、折り合いを付けて話し合う力。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてに沿った相互評価・自己評価ができるようにする。</li> <li>○一人一人のめあてを学級全体が把握できるようにする。</li> <li>○前時と役割を交代させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>期待する話し合いの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識・目的意識を確認する。</li> <li>・決定条件を確認する。</li> <li>・司会者などの確認をする。</li> <li>・時間を確認する。</li> <li>・意見を出し合う。</li> <li>・比べる。</li> <li>・まとめる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者は予め理想とする話し合いのモデルを作成し、児童への助言に生かす。</li> <li>○ペアを決め、話し合いの中でよかったことを付箋にメモさせる。言葉に着目しながら聞くよう指導する。</li> <li>○AグループとBグループの話し合いの間に、よい話し合いをしているグループを価値付ける。場合によって困った場面を取り上げ、よりよい話し合いにするため、考えを出し合う。</li> <li>○ペアでの振り返りを取り入れることで、新たな気づきを得たり互いの成長を認め合えたりできるようにする。</li> <li>○振り返りを行うことで、自分の学びを自覚するとともに、他者と話し合うことのよさや価値に気付けるようにする。</li> <li>○時間があれば学級全体で振り返りを共有する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>〔思考・判断・表現②〕 発言・話し合いボード・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしているかの確認。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの立場を明確にし、立場が異なる場合でも相手の考えを受け止め、折り合いを付けながら、互いに考えを広げたりまとめたりしている姿。</li> </ul> </div>

## 7 資料

### (1)板書計画

# 「話し合い」で身に付けたい力

**活動の流れ**

- ①ペアと付けたい力を共有して、黒板にネームプレートを貼る。
- ②話し合い
- ・ Aグループの話し合い。
- ・ Bグループの話し合い。

③今日のふり返り

- ・ ペアでふり返りをする。(感想を書く。)
- ・ 自分の振り返りと次回の付けたい力を書く。

**めあて**

～ 二年生に教えたいたい事柄を決める。二年生に教えたいたい事柄を決める。

☆相手・目的 二年生にタブレットの使い方教える。

☆決定条件・二年生でもすぐできること

- ・ 二年生の発表に生かせること
- ・ 三年生の学習に役立つこと

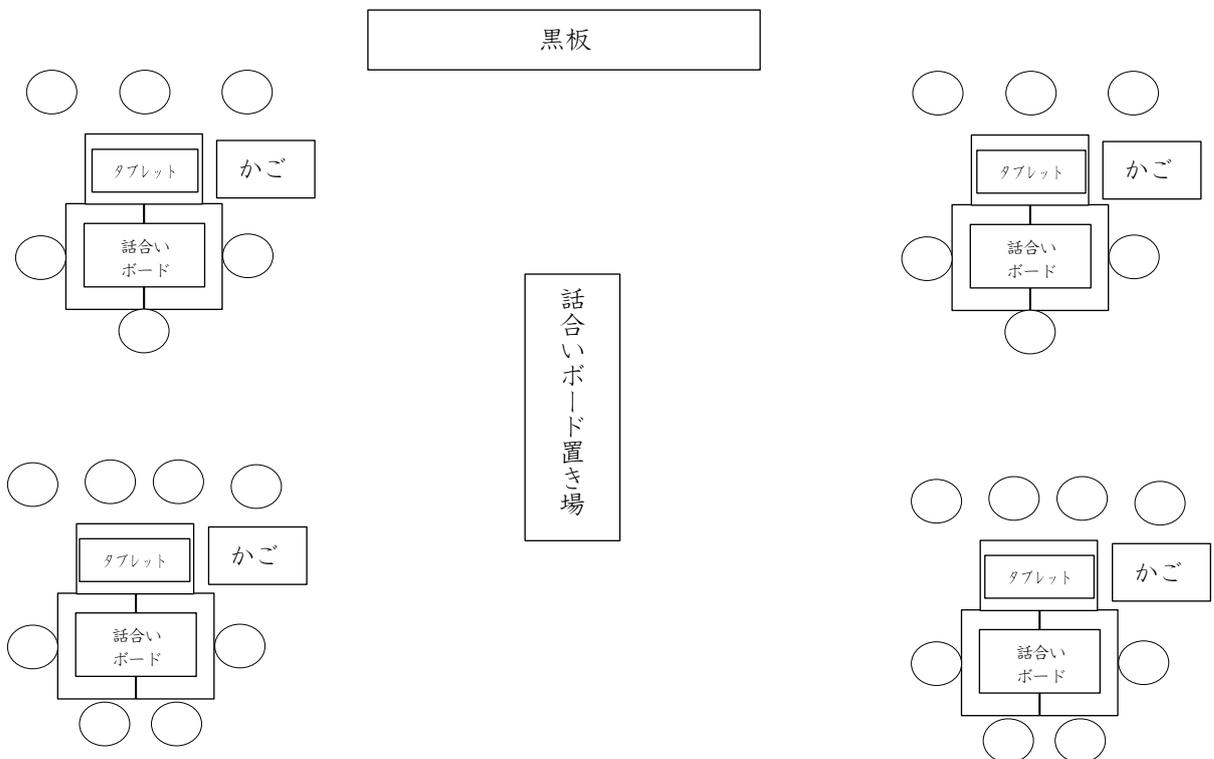
**話し合いの進度**

- ①確認
- ②出し合う
- ③整理する
- ④比べる
- ⑤まとめる

今日の自分の付けたい力のところに名前を貼って、全体で周知できるようにする。

話し合いが進むにつれ、記録者がグループの札を動かすようにする。そうすることで、グループごとの話し合いの進捗状況を他のグループや授業者も把握できるようにする。

### (2)場の設定 3・4人×8グループ



「話し合い」で身に付けたい力

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、  
考えを広げたりまとめたりすることができる力。

10 互いの意見の共通点や相違点、よい点や課題をまとめる。

11 どのように話し合えば、意見を1つにまとめることができるか考えながら話し合う。

7 互いの考えを明確にする。

8 友達の考えを認めてから自分の考えを言う。

9 互いに質問をし、折り合いを付けて話し合う。

3 目的や進め方を確認する。

4 司会などの役割を果たす。

5 互いの意見の共通点や相違点に着目する。

6 自分たちの考えをまとめる。

1 友達の考えに関心をもつ。

2 友達の発言を受けて話をつなぐ。

【話し合い①】 月 日 ( )

めあて	自分の振り返り

◎・○・△・×

- ★相手と目的を意識して、情報を集めることができた。( )
- ★自分の経験等と関係付けて、自分の考えをもつことができた。( )
- ★ワークシートに自分の考えを整理したり、まとめたりすることができた。( )

【話し合い②】 月 日 ( )

めあて	自分の振り返り

【話し合い③】 月 日 ( )

めあて	自分の振り返り

【単元を通して学んだこと+次の学習や他教科、生活の中で生かしたいこと】